

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

はじめに

優しさと思いやり、そして強さ

日本人のメンタリティーのひとつに「散りぎわの美学」が言われる。桜がその象徴か。花びらがひらひらと優しく舞い、葉桜が力強く芽吹くわずかな時を愛でる。人の営みに欠かせない優しさ、思いやり、芯の強さをなぜか想起させる。そう感じるのは私だけだろうか。

青葉学園へと急ぐ坂道の両脇にはソメイヨシノが枝を垂れ、学校へ通う子供たち、仕事に勤しむ職員たちの目を楽しませている。学園も地域の人たちに支えられながら60余年の歴史を刻み、しっかり地元根付いている。これまで数多の子供たちが巣立っていった。歴代の職員たちの優しさ、時に厳しさに包まれながら。大学、仕事場へ巣立った後も、卒業生の悩み、トラブルに親身になって耳を傾け、現場へ駆けつける学園長以下、職員たちの姿には頭の下がる思いだ。

中日新聞社会事業団の歴史も古い。中日新聞の前身である戦前の新愛知、名古屋新聞の時代から双方に社会事業団が置かれていた。地元での社会福祉に貢献するだけでなく、3・11東日本大震災、最近では能登半島地震などでも中日新聞と一体となって読者から義援金を集め、被災地へその浄財を届けた。3・11といえば、10年近くかけて事業団が手掛けてきた東日本復興支援事業が令和5年度をもって終了した。

社会福祉の仕事は厳しい。労多くして……、とも。自虐的に「ブラック」と揶揄する人も。とくに精神的な負担を訴える人も少なくない。だからこそ、フランスの哲学者で「幸福論」の著者アランのこんな言葉を贈りたい。「悲観主義は気分である。楽観主義は意志である」

中日新聞社会事業団
理事長 河津 市三

本部(名古屋)

新型コロナウイルス感染症のため中止、中断後、再開しない事業も多く、前年よりは1割ほど増えたものの、コロナ前は例年約200件実施してきた主催・共催・後援事業は、115件の実施にとどまった。また、法人運営が円滑に進むよう、各支部と緊密な連絡をとりながら取り組みを実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童福祉施設等支援事業

・離島自然体験活動(10月8～9日)

ファミリーホーム(小規模住居型児童養育事業)で生活する子ども達が、篠島で自然体験を行った。児童と養育者ら29人が参加し、釣りや砂浜での遊びを楽しんだ。

主催:愛知県ファミリーホーム協議会ほか



また、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業について共催、後援事業として支援を行った。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立ててほしい」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに、交通事故で親を亡くした子どもたちを励ますために行う支援事業。夏には恒例の大相撲招待も実施した。後援した「第56回交通遺児を励ます大会」は12月24日に開かれ、交通遺児とその保護者が集い、支援者や関係者などが交通遺児の健やかな成長を願い激励した。



b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. その他

・第15回福祉の星フォーラム(1月14日)

地域共生社会に向けて、地域で輝く人に焦点を当て、共に生きる社会を考え、発信していく目的で開催。ダウン症書家の金澤翔子さんが揮毫し、母泰子さんが「娘と共に生きる」と題して講演し、82人が参加した。

共催:中日新聞社、愛知県社会福祉協議会、NHK 名古屋放送局、NHK厚生文化事業団



(2)社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

・あいちアール・ブリュット展(9月14日～3月17日)

愛知県内の障がい者の芸術・文化活動を通じて、障がい者の社会参加や、地域住民の障がいに対する理解を深め、障がいの有無をこえた交流が広がることを目指し、障がいのある人からの公募作品や過去の入選作品、企業のノベルティに採用された障がい者の作品等を展示。また芸術系大学の教員が障がい者施設を訪問する、アート出前講座などを行った。

b. その他

・年末助け合い運動(11月27日～12月28日)

年末の1ヶ月をキャンペーン期間とし、本部には290件、約2,595万円が寄せられた。愛知、岐阜、三重各県の生活保護家庭の小中学生にお年玉を贈るほか、福祉事業に助成した。

・公益事業に対する支援

▽生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて4,364人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,500円、中学生2,500円)を贈呈した。

	小学生		中学生		合 計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額
愛 知 県	862	1,293,000	511	1,277,500	1,373	2,570,500
岐 阜 県	219	328,500	134	335,000	353	663,500
三 重 県	460	690,000	299	747,500	759	1,437,500
名古屋市	1,125	1,687,500	754	1,885,000	1,879	3,572,500
合 計	2,666	3,999,000	1,698	4,245,000	4,364	8,244,000

▽第67回東海地区特別支援教育振興資金贈呈

心身障がい児や高機能自閉症児、学習障がい児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金を愛知、岐阜、三重県の各難病者団体に贈呈した。

	団 体 名
愛知県	愛知県難病者団体連合会
	もやもや病の患者と家族の会中部ブロック
	愛知県脊柱靱帯骨化症患者・家族友の会
	日本 ALS 協会愛知県支部
	全国パーキンソン病友の会愛知県支部
	名古屋 IBD
岐阜県	岐阜県難病団体連絡協議会
	日本リウマチ友の会岐阜支部
	岐阜県心臓病児者の会
	つぼみの会愛知・岐阜 岐阜支部
	岐阜県筋ジストロフィー協会
三重県	三重難病連
	三重県網膜色素変性症協会
	三重県後縦靱帯骨化症患者友の会
	全国筋無力症友の会三重支部
	MS 三重

(3)災害援護に関する事業

・東日本復興支援事業

東日本大震災からの復興を目指す団体や被災者支援団体などへの配分事業については、以下の8団体に贈呈した。また、当事業の配分委員らを宮城、岩手、福島各県に派遣し、配分希望団体の要望の聞き取りや被災地のニーズ調査を実施した。2014年から20年8月までに寄せられた約8,700万円の配分は当年度で終了。延べ61団体に支援金を贈った。

	団 体 名
宮城県	WATALIS
	石巻キャリア教育推進ネット
岩手県	居場所創造プロジェクト
福島県	NEXT しらかわ
	いわき緊急サポートセンター
	南相馬サイエンスラボ
	もやい展実行委員会
	0073(おおなみ)

(4)保健医療相談支援事業

当年度はなし。

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社（北陸中日新聞）、富山支局と緊密な連携をとりながら各県内の関係機関、団体などの協力を得て当年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

（1）社会福祉事業に関する助成を行う事業

- ・大井中日就学(職)支援（3月1～31日・石川県内児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として当年度も実施した。

県内にある児童養護施設8施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち16人に新生活の準備に役立ててもらおう。

（2）児童養護施設等支援事業

- ・児童養護施設入所児童を北陸中日新聞主催「すずめの戸締まり展」に招待

北陸中日新聞主催事業に石川県内の児童養護施設に入所している子ども達を招待。当年度は石川県内の8施設に招待案内を出したところ7施設から申し込みがあり、計185人を招待した。

- ・乳児院に図書カード贈呈（7月1～31日・石川、富山県内）

石川県内の乳児院2施設、富山県内の乳児院1施設に、1施設あたり20,000円の図書カードを贈呈した。

（3）助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

- ・年末助け合い運動（11月27日～12月28日・石川、富山県内）

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では16件、478,453円の募金が集まり、石川・富山県内の障がい者就労施設6施設へ届けた。

◇公益事業

(1)研修会・講演会・講座の開催、支援事業

当年度はなし。

(2)社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

・「金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催している大会。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、参加記念品の購入費用を助成した。

b. その他

・中日新聞北陸本社内に古切手回収BOXを設置し、読者から寄附された古切手とあわせて換金し、事業資金に充てた。

(3)災害援護に関する事業

当年度はなし。

(4)保健医療相談支援事業

当年度はなし。

東海支部

中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、恒例の主催事業や児童養護施設からの要望を踏まえた支援を行うなど社会福祉事業にも力を入れ、静岡県下での当年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

児童養護施設等支援事業

- ・児童養護施設すみれ寮入所者の誕生日プレゼント補助金贈呈（4～3月）
児童養護施設すみれ寮では施設予算だけでは入所者の誕生日プレゼントに子供たちの希望する品を購入できないことから、小学生以下(8人)に各2,000円、中学生以上(6人)に各4,000円の補助金を贈呈した。
- ・「静岡県児童福祉施設夏季スポーツ交流会」に対し参加賞購入費の一部を助成(8月17日)
施設間交流と多種スポーツ体験を通じて心豊かな児童となることを目的として開催されるもので、参加賞として配られる菓子の購入費用として20,000円の助成を行った。
- ・静岡県西部地区児童養護施設出身の大学生らへ年末生活支援一時金を贈呈(12月20日)
生活が困窮しがちと言われる児童養護施設出身の大学生らに対し、静岡県西部地区児童養護施設4カ所を通じて、該当する9人に年末生活支援一時金各30,000円を贈呈した。
- ・静岡県西部地区児童福祉施設入所者の中学校卒業生へお祝い金贈呈(3月19日)
静岡県西部地区児童養護施設4カ所に入所している当年度中学校卒業生徒11人に、激励の意を込めて各30,000円のお祝い金を贈った。代表して児童養護施設わこうに入所している生徒が受け取り、高校生活への抱負などを語った。

- ・浜松市内児童福祉施設入所の小学校
新入学児童へランドセル贈呈
(3月29日)

児童養護施設清明寮入所2人、同わこう入所2人の新入学児童計4人に、ランドセルを贈呈した。清明寮で行われた贈呈式では本人らが大きな声で「ありがとう」と言ってランドセルを受け取った。



贈呈のランドセルを背負った新入学児童＝児童養護施設清明寮で

◇公益事業

(1)研修会・講演会・講座の開催、支援事業

招待事業

- ・第45回静岡県ボランティア研究集会(2月23日)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくり強化を目的とした集会。大会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(2)社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

- ・第24回東海地区盲学校フロアバレーボール大会(7月8日)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の盲学校・視覚特別支援学校の生徒によるフロアバレーボール大会。技術や体力の向上、生徒同士の交流と親睦を図る目的で開催。大会を後援し、参加賞のタオルを贈った。

主催：東海地区盲学校体育連盟

- ・第7回全国盲学校フロアバレーボールしずおか大会(8月23日)

全国8地区の代表10チームが集う盲学校・視覚特別支援学校の生徒によるフロアバレーボール大会。全国持ち回りで開催されており、前回開催地は山口県。中日新聞東海本社とともに後援し、参加賞などの補助として30,000円を助成した。

主催：全国盲学校体育連盟

- ・第36回静岡オレンジマラソン大会(11月25日)

静岡県内の知的障害者が日ごろの体育活動の成果を発揮することなどを

目的に開催。大会を後援し、100mの部入賞者に対してメダルを贈呈した。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、
特定非営利活動法人静岡県作業所連盟

b. その他

・第40回中日ボランティア賞(贈呈式=10月19日)

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より13件の受賞6団体(静岡県西部4団体、中部2団体)を選考委員会で決定。贈呈式で賞状と奨励金(一団体150,000円)を贈った。



第40回中日ボランティア賞受賞団体代表者ら

=浜松市で

・浜松市内ひとり親世帯の小・中・高生を対象に学業奨励(新聞購読)事業

(8月1～31日)

浜松市在住のひとり親世帯の小・中・高校生に対し、長期休暇中の時間を有効に使って新聞に親しみ、時事問題への興味や読解力向上に役立ててもらうことを目的に、こどもウイークリーや中日新聞朝刊を届けた(こどもウイークリー11部、中日新聞朝刊10部)。また希望者には中日春秋書き写しノートも贈った(6冊)。終了後のアンケートでは、「活字に目を通す習慣が少しかったような気がします」「子どもたちが毎日楽しみにしていました」「文章以外にも紙面の構成なども参考になりました」などと書かれ、好評だったことがうかがえた。

・年末助け合い運動(11月27日～12月28日)

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は49件、総額で2,520,656円となった。

・第42回ふるさと知名人チャリティー
色紙展(11月18、19日)

静岡県にゆかりのある知名人(画家・書道家・版画家・漫画家など)から、色紙作品の寄贈を受け、展示。来場者が一枚4,000円で購入(一部入札あり)、その収益金を寄付金とする主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店の協力を得て開催。経費を除いた収益金(1,000,000円)の半額を年末助け合い運動資金に加え、半額を静岡県社会福祉協議会に贈った。



チャリティー色紙展展示風景＝浜松市で

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈(12月14日)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生185人(浜松市147人、湖西市3人、磐田市10人、袋井市14人、掛川市6人、菊川市1人、御前崎市4人)に、激励の意を込め各5,000円分の図書カードを贈った。お礼状には、高校受験やテストに備えて参考書を買ったと書いている生徒が多く、図書カードを有益に使っている様子がうかがえた。

・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈(2月28日)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童31人(浜松市19人、湖西市3人、磐田市1人、袋井市5人、菊川市1人、御前崎市2人)に各3,000円分の図書カードを贈った。保護者からのお礼状には買った大型の図鑑を購入したとの声や、覚えてたのひらがなでありがとうと書かれた新入学児童直筆のものもあった。

・浜松市内交通遺児家庭の中学校卒業生へお祝い金贈呈(3月15日)

浜松市内交通遺児家庭の当年度中学校卒業生徒1人に、激励の意を込めて30,000円のお祝い金を贈った。

・社会福祉事業資金造成 第40回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

(3月27日)

社会福祉事業資金造成を目的として豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。チャリティー基金として参加費の一部82,000円の社会福祉事業資金が集まった。

- ・第38,39 回スズキビジネスチャリティゴルフ大会(7月19日、12 月13日)
地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。浜松市のペルー人学校を支援する目的で開催、本大会を後援した。
主催:株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会
- ・静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成(5月静岡県)
昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会は毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000 円を贈った。
主催:特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

(3)災害援護に関する事業

当年度はなし。

(4)保健医療相談支援事業

当年度はなし。

東京支部

本部や中日新聞東京本社(東京新聞)と緊密な連携を取り、東京都を中心とした関東の各都県で、社会福祉事業や公益事業を実施した。

◇社会福祉事業

・寄付の受付、「年末助け合い運動」募金の実施

東京新聞の協力を得て、寄付の受付や「年末助け合い運動」募金(11月27日から12月28日まで)を行った。寄せられた善意は、計61件、1,251,810円になった。

・社会福祉施設への助成

各都県の社会福祉施設(8施設)で使用する物品の購入費用に対して助成した。助成事業実施にあたり、東京善意銀行(東京都社会福祉協議会)、千葉県児童福祉施設協議会、神奈川県社会福祉協議会の協力を得た。

No.	施設名	区市町村	種別	購入備品
1	(東京都内施設)	—	養護老人ホーム	コードレススティッククリーナー
2	フジホーム	東京都昭島市	特別養護老人ホーム	転倒防止コールマット
3	デイグループぱーく	東京都東大和市	放課後等デイサービス(障害児)	壁面収納用セット
4	富士作業所	東京都町田市	就労継続支援(障害者)	発電機、掃除機
5	友愛学園成人部	東京都青梅市	施設入所支援(障害者)	余暇活動用DVD
6	聖愛乳児園	千葉県いすみ市	乳児院	ハイランドおやま・3つ折り、 メッシュクッションマット
7	ほうゆう・キッズホーム	千葉市花見川区	児童養護施設	衣類乾燥機
8	(神奈川県内施設)	—	母子生活支援施設	ポータブル電源、 ソーラーパネル(災害用備品)

◇公益事業

(1)社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者支援事業

・Art to You!東北障がい者芸術全国公募展 東京巡回展(4月15～18日)

ハンディキャップを持つ人が自ら制作した絵画、彫刻、立体などの芸術作品を展示し、障がい者アートの魅力を多くの人に見てもらうことを目的とした展覧

会を後援した。

- ・第27回 全日本IDバレーボール選手権大会(8月12～13日)
国際試合に活躍できるような選手育成と、知的障がい者(ID)スポーツの発展を目指したバレーボール全国大会を後援した。
- ・2023グリーンリボン ランニング フェスティバル(10月9日)
東京新聞などが主催し、健常者と視覚などの障がい者、臓器移植者が一緒に走る事を目的とした大会を後援した。
- ・第21回 本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート
「ほのカルテット with 澤和樹」(10月28日)
社会福祉法人日本点字図書館が活動資金の一助とするために開催したチャリティコンサートを後援した。

b.高齢者支援事業

- ・H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム(9月27～29日)
社会福祉法人全国社会福祉協議会、一般財団法人保健福祉広報協会が主催した、高齢者や障がい者らの自立や社会参加に役立つ「国際福祉機器展&フォーラム」を後援した。

(2)研修会・講演会・講座の開催、支援事業

当年度はなし。

(3)災害援護に関する事業

当年度はなし。

(4)保健医療相談支援事業

当年度はなし。

岐阜支部

当年度は、コロナ禍から平常へ向かう中、主催・共催事業は感染予防対策を講じて実施するなど、本部や中日新聞岐阜支社と緊密に連携をとりながら、地域に密着した事業を実施した。

◇社会福祉事業

児童養護施設等支援事業

- ・第6回中日ロボラぎふ就学(職)支援金贈呈式(2月1日)



(横川会長㊟に目録贈呈、河津理事長が感謝状受領)

県内の児童養護施設に入所している高校3年生32人に対し、大学や専門学校への進学及び就職など新生活に向けての準備を支援するため、それぞれ3万円を支給した。贈呈式では、岐阜県児童福祉協議会の横川会長が代表して目録を受け取った。

◇公益事業

(1)保健医療相談支援事業

中日新聞岐阜県版の「社会事業団岐阜支部だより」(毎週掲載)で告知し、募集の支援を行った。

<主な相談内容>

- ・「薬物依存症医療電話相談」(毎月第2水曜日)を後援

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」と協力して、同症からの自立支援を目的に、薬物やアルコール依存症の患者及び家族に対して電話相談を行った。(年間10回)

- ・「心の病電話相談」(毎週火、木、金曜日)を後援

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に向けて電話相談窓口を岐阜県精神保健福祉会連合会が開設し、精神疾患の人やその家族への支援を行った。(年間146回実施)

- ・「認知症介護者のつどい」を後援

認知症の人と家族の会岐阜県支部が主催し、認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を毎月県内各地で行った。

(2) 研修会・講演会・講座の開催支援

a. 研修会

- ・岐阜県難病団体連絡協議会が会員を対象に実施した「ピアサポート研修会」を後援(1月14日)

b. 講演会・講座

- ・岐阜県腎臓病協議会「慢性腎臓病対策講演会」を後援(9月17日)
- ・ぎふ難聴者協会「聞こえのサポートフェア」を後援(10月22日)
- ・「要約筆記かがり火講習会」を後援(1月28日)

(3) 社会福祉向上目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者スポーツ支援事業

- ・特別支援学校高等部生徒の陸上競技大会(10月7日)及び駅伝競走大会(12月3日)を後援
- ・CPサッカー(脳性まひ等による7人制サッカー)全日本選手権大会を後援(9月30日、10月1日)
- ・東海地区盲学校ゴールボール大会を後援(12月9日)
- ・全国身体障害者グラウンドゴルフ大会を後援(11月25日)

b. 障がい者支援事業

- ・中部学院全国手話スピーチコンテストを共催(11月18日)



1992年から開催していた中部手話スピーチコンテストが、当年度から更なる飛躍を図るため「全国手話スピーチコンテスト」として再スタート。中学生から社会人までの参加者が手話表現を競った。また、会場で観衆が選ぶ会場特別賞(中日賞から名称変更)を贈呈した。

- ・「ふれあいアートステーションぎふ」(障がい者の作品展)を後援



(8月22日～9月4日、11月14～27日
1月16～29日 の3回)

岐阜県身体障害者福祉協会が主催する
「ふれあいアートステーション・ぎふ応募作品展」に参加した障がい者の作品から32作品を
3回に分けて展示、その活動と作品を紹介し
た。

- ・「たじみアール・ブリュット芸術文化祭」を後援(11月18、19日)

当年度からの新規事業として、障がいのある人や子どもたちの作品を展示
し、障がい者への理解が深まるような交流の場を提供した。

c. 子育て支援事業

- ・岐阜市の母子家庭 東京ディズニーランドバス旅行を後援(8月18～20日)

コロナ禍で3年連続延期したが、岐阜市母子寡婦福祉連合会が主催する
バス旅行(岐阜社会福祉事業協力会と中日新聞社会事業団がバス代を負
担、2車中泊3日)に、親子16組33人を招待した。

d. その他

- ・社会福祉団体及び公益団体への活動助成金贈呈

岐阜県児童福祉協議会や刑務所篤志面接委員協議会など、岐阜県内の社
会福祉団体及び公益団体の計11団体の活動を後援した。

- ・年末助け合い運動(11月27日～12月28日)

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支
局・通信局部などの協力を得て、中日新聞紙面に寄託者を紹介し、年末助け
合い運動を展開。東日本大震災(2011年)以降で最も多い72件3,861,256
円の善意が寄せられた。

(4)災害援護に関する事業

当年度はなし。

中日青葉学園

(1)地域連携

◆ 食糧支援

「地域に貢献できる施設となる」という方針のもと、日進市社会福祉協議会と連携してサテライト「三つ葉」の管理棟でフードパントリーとフードドライブを実施。フードドライブは、日進市農業委員会から野菜の提供や、近隣住民から食料品の寄託を受けるなど、数多くの協力を得た。フードパントリーでは公式 LINE を活用し、食材の支援が必要な家庭に配分した。

◆ 里親支援

里親世帯と里親を目指す家庭に対し、「三つ葉カフェ」と銘打って茶話会を開催。日ごろの苦労や喜びについて語り合い、互いの労をねぎらったり、里親登録までの不安を話し合い、助言を受ける場となった。

◆ 子育て相談、ボランティアの受け入れなど

学園の福祉、保育、心理の専門職を活用して、無料電話や対面の子育て相談、社会的養護相談に応じた。ボランティア活動日を設け、清掃や卓球、ソフトボールなど、地域の学生を中心に20人のボランティアと入所児童、職員が交流した。

◆ 青葉まつり

例年同様10月最終土曜日に開催。地域住民、入所児童の同級生らを招き、児童、ボランティアによる模擬店などでにぎわった。わかば館の開設20周年を記念して、長年ボランティアや寄付を続けてくれた9人16団体に感謝状を贈呈した。地域住民約400人とボランティア約170人が参加した。

(2)児童の権利擁護に基づく養育方針

児童の権利に関する条約第3条「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」や児童福祉法の新しい理念である子どもの権利保障に基づき、下記項目を実践した。

◆ 要望等対応(苦情解決の取り組み)

苦情等意見箱には、41件の意見が寄せられた。意見については、月1回行われる児童の全体会で説明し、記名されている児童については、個別で対応した。また、新規入所児童には「権利ノート」と子どもの人権 SOS ミニレターを配布し、施設での権利侵害について、いつでも相談できることを担当職員から説明した。保護者からの意見については、子どもの意向や支援方針のすり合わせを行い、児童の福祉が保障されるように話合った。

◆ 被措置児童の人権保障について

子どもから、「暴れたのを制止された時、痛かった」など職員による人権侵害の恐れがある訴えが2件寄せられた。該当職員に事情の聴取と指導、対応への助言を実施し、該当児童、保護者への謝罪を行った。また、児童相談センターに報告したところ、該当児童のいるホームの全児童に聞き取り調査があり、被措置児童虐待と認定された。施設長が中心となって現状分析と課題の洗い出しを行い、施設全体として再発防止策の策定を行った。

◆ リスクマネジメント(ヒヤリハットと事故報告)

ヒヤリハット事案は34件。その都度、合同研修で注意を喚起した。職員から児童への被措置児童虐待は1件だった。

事故報告は22件(服薬ミス、いたずらによる火災報知器発報など)。事故原因の究明と対策をするとともに、児童や職員への指導も同時に行った。器物破損については、児童がガラスや壁を破損する事故が多数発生した。

(3)その他

◆ 健康

入院、児童相談所、保護者報告に至る疾病傷病等はなかった。5類に変更となった新型コロナウイルスには複数の児童、職員が感染したが、重篤な後遺症などはなく、全員が早期に回復している。

◆ アフターケア

アフターケアについては、15人の卒園生に対し、就労支援、生活支援、生活保護の申請補助、子育て相談等を行った。「中日青葉学園大学進学支援金」は、あおば

館は継続4人、わかば館は継続1人の応募があり、応募者全員が奨学金を受け取った。リフォームで新たに設けた個室を卒園者に提供する社会的養護自立支援事業の取り組みを検討したが、当年度は実施しなかった。

◆ 愛知県指導監査・福祉サービス第三者評価

愛知県健康福祉部による指導監査が10月11日に実施されたが、文書による指摘事項はなかった。福祉サービス第三者評価は、自己評価を実施。提供できる支援がより良いものとなるよう、再確認した。

◆ 実習生の受け入れ

あおば館、わかば館ともに16人の保育士を受け入れた。社会福祉実習ではあおば館6人、わかば館8人、心理実習ではあおば館7人、わかば館35人、介護体験ではあおば館12人、わかば館10人、看護実習では35人、里親実習では8家庭を受け入れた。

◆ 職員表彰

勤続表彰は20年4人、15年1人、5年3人。職員のメンタルヘルス向上の貢献で1人、長きに渡り調理業務に精勤した功績で1人を表彰した。

◆ 関係機関との協働

日進市、豊明市の要保護対策協議会の委員、名古屋市キャリア支援アドバイザー、社会福祉士、保育士、心理系学部など各関連機関・団体の委員や講師として参加。地域の子育て支援、地域福祉の向上、後進育成の一翼を担った。

中日青葉学園人員構成表

▽職員構成・職員数

令和6年3月1日現在

職 員	人 員	担 当 職 務
学園長	1	運営管理(法人理事・自立支援担当 兼務)
児童養護施設 あおば館		
館長	1	運営管理
指導課長	2	生活指導 (本園、分園)
指導係長	1	生活指導
事務員	1	経理事務 (わかば館兼務)
主任指導員 保育士	2	生活指導
指導員 保育士	18	生活指導
主任心理士	1	心理治療、生活指導
給食係	4	給食実務
嘱託医	1	嘱託医務
非常勤	4	生活指導 (生活補助、里親支援)
小計	35	
児童心理治療施設 わかば館		
館長	1	運営管理
精神科医・小児科医	(3)	医療業務 (非常勤)
事務課長	1	経理事務統括 (あおば館兼務)
指導課長	1	生活指導 (支援統括)
心理係長	1	心理治療、生活指導
主任保育士	1	生活指導
指導係	14	生活指導
主任心理士	1	心理治療、生活指導
心理士	3	心理治療、生活指導
看護師	1	看護実務
給食係(栄養士)	1	栄養管理
給食係	4	給食実務
小計	29 + (3)	
合計	65 + (3)	

▽児童数

令和6年3月1日現在

施 設		幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男 子	2	7	3	3	1	16
	女 子	0	4	9	5	0	18
わかば館	男 子		11	4	0	0	15
	女 子		5	8	1	0	14
計		2	27	24	9	1	63

児童養護施設あおば館

① 組織運営

【組織】

本園4ホーム、分園(三つ葉)2ホームの体制で運営。小規模グループケアをすすめるため、当年度、本園2ホームを改修し、ホーム全ての小規模化が完了。措置定員は、前年同様35人(本園23人、分園12人)とした。

家庭復帰児童は2人、自立した児童は2人、措置変更1人であった。幼稚園入園は1人、中学校入学は2人、高校入学は3人。措置延長をする児童はいなかった。

・児童入所状況(令和5年4月1日現在)

けやき	しらかば	ひのき	もみじ	ポプラ	さくら	合計
5人	6人	5人	6人	6人	6人	34人

※男子ホーム：けやき、ひのき、ポプラ 女子ホーム：しらかば、もみじ、さくら

・児童の入所実績

	けやき	しらかば	ひのき	もみじ	ポプラ	さくら
入 所	0人	0人	3人	0人	1人	0人
退 所	1人	0人	0人	0人	2人	0人

延べ入所者数は 11,876日人数

一時保護児童数：男子6人・女子3人で延べ 225 日人数

【会議】

運営方針、ホーム運営、児童のケアに関する内容で以下の通り会議を実施をした。あおば館会議は4回。ビジョンの確認、あおば館の新たな運営コンセプトである「あおばコミュニティ」、「ホーム自治」について理解を深めるための場とした。役職者会議は3回で、あおば館運営状況のモニタリングを行った。ホーム長会議は73回で、ケアワークや運営における現場の意見や情報集約の場とした。ホーム長調整会議は現場の意見と運営をすり合わせる場とし、10回実施。ホーム会議は12回実施した。自立、家庭復帰を控える児童についての会議は必要に応じ5回実施した。

児童も参加するホーム会については、各ホームでばらつきがあるが、月1回ほど実施した。

【職員育成】

あおば館全ケアワーカーに対し、ケアプランの作成、アタッチメント理論、ケアワークの在り方、子どもの最善の利益、福祉の構造について6回の研修を実施した。ビジョンに対する理解を深めることに重きを置き、ホーム運営や養育機能の確認と向上、社会的養護の現状・動向について学んだ。

他施設と合同で行う「自主研究会」は三つ葉の管理棟にて5回実施。職員の専門性向上を目指した外部研修に7回、延べ8人が参加した。性の問題を考える会には、3回の研修にケアワーカー延べ5人が参加した。

② 養育

ホーム運営は、あおばコミュニティと称したホーム自治で「自助」「互助」「共助」「公助」の仕組みを導入。質の高いサービスが提供できるよう努めた。共助においては自社資源(全体行事や部活動など)の活用、セーフティネットの仕組みを示し、ケアプランを軸に個々の児童の成長につながるよう努めた。

本園はケアニーズの高い児童、家庭復帰を目指す児童、里親とのマッチングに移行する児童を配置。分園は家庭復帰を見込むことが叶わず、児童が帰属意識を実感できる「実家機能を備えた場所」となるよう配置した。人権擁護を意識し、より家庭的で専門的な養育を提供できるように概ね6人のケア単位で生活支援を行った。日々のケアワークを充実させるために、戦略的ケアワークノートの記載を実施。日々のケアワークに目標を持たせ職務に就くよう努めた。本園は各ホーム概ね3人、分園は各ホーム5人の体制で職員を配置。役職職員はホーム勤務の補助に入り、スーパービジョンに努めた。学校教育については地域の小中高校や敷地内にある分校と連携をして、より専門的で質の高い支援を行った。

③ 自立支援・家庭復帰支援の方法

ケアプランに基づき、家庭復帰、自立を目指した戦略的な支援を展開した。児童の関わりにおいては社会福祉のエッセンス(寄り添い・伴走・ワンストップ・オーダーメイド・社会資源の開拓・社会資源につなぐ)を取り入れ、児童個々にあわせた支援、ルール作りを心がけた。ケアプランにおいては子どもの声を主軸に置いて養育支援プラン、家庭復帰プランを立案。各児童の家庭復帰や自立の状況をイメージし、児童の強みを伸ばす支援を心がけた。自立しかイメージできない児童にも家庭復帰プランを作成。実親の状況、なぜ措置されたのかについて情報提供し、生活上の課題をフィードバックした。また児童の特性や状況に合わせたオーダーメイドの支援を個別に展開した。養育支援プランについては児童の持つ力を伸ばすための支援と位置づけ、支援の質や内容についてホーム職員単位で共通理解を持って支援にあたり、モニタリング、評価を行った。家庭支援についてはケア担当職員とケース担当職員を分け家庭支援専

門員がケース全体のマネジメントを行った。家庭復帰や自立の拠点となる地域において、社会資源の開拓と調整を見守り相談所と協働して行った。リビングケアの一環として各ホームの特色を生かし、アルバイト支援、アフターケアノートの作成など、退所後の支援につなげられるように工夫した。

④ その他

(1)「けやきホーム」「もみじホーム」小規模グループケア改修工事(社会的養育推進計画)

ケア単位の小規模化、より家庭的な養育実践のため7月より小舎制にホームを改修する工事を行った。玄関を設置し、風呂、リビング、児童居室を、子どもがより家庭的な暮らしができ、職員とコミュニケーションが取れるようにした。もみじホーム、けやきホームは引っ越しをし、12月25日に完全移行をした。

(2)心理対応

心理士が、個別心理療法、コンサルテーション、生活場面でのアセスメントや面談を行った。また、愛知学院大学など地域の大学と連携協定を結び、支援の幅を拡大した。

(3)個別対応と家庭支援

個別対応職員は、ケアニーズの高い特別な支援が必要な児童に寄り添った支援を実施。うち課題を抱えた1人には、登校支援、生活改善支援、就労支援を行った。

家庭支援専門相談員は、家族再統合に向け児童相談所、地域行政等と協働した。児童の意見を保護者に伝え、親子関係調整のため家庭訪問を実施した。当年度1人が家庭復帰した。

(4)退所者支援

法人本部の「中日青葉学園大学進学支援金事業」を活用し、大学や短大に進学した退所児童3人と三つ葉在籍の大学生1人が継続支援を受けた。退園生については生活相談、通院支援、行政手続きや住居探し、ライフストーリーワーク、再就職支援など退所者支援は多岐にわたった。

(5)里親支援

平成30年から配置している里親支援専門相談員は、専門性を生かして里親と児童の関係づくりを支援した。児童相談所が主催する里親サロンの支援として、学園を会場にしたサロンを5回開催。里親家庭に延べ140回訪問した。養育相談をはじめ、レスパイトの調整も行い、里親に寄り添った支援を行った。

(6)地域連携と協働

地域との交流活動で、本園は「市場町側子ども会」、分園は「御岳子ども会」に加入しており、時宜に応じたイベントに参加した。愛知淑徳大学との連携協定に基づき、1人の児童が相談室に通うことができるようになった。

(7)福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では

- ▷保育士実習受け入れ
- ▷福祉人材育成
- ▷福祉避難所
- ▷一時保護の実施
- ▷退所児童支援事業
- ▷家庭的養護の推進

の6項目で5ポイントを取得した。

児童心理治療施設わかば館

① 組織運営

【組織】

わかば館は、男女2ホームで定員35人の大舎制で運営。4月1日の在籍児童は、小学生から高校生まで計27人。職員は非常勤を含め32人の体制で、「ソーシャルワークに基づいた支援」をスローガンに掲げ、子ども達の支援にあたった。入所児童への支援の質の向上のため、福祉、心理、教育(青葉分校)が連携し取り組んだ。部活動や行事をできる限り実施し、子どもの心身の成長を促した。

・児童入所状況(令和5年4月1日現在)

もえぎ・男子	あさぎ・女子	合 計
13 人 (定員17人)	14 人 (定員18人)	27 人(定員35人)

・子どもの入退所実績

	男子	女子	計
入 所	3人	2人	5人
退 所	3人	3人	6人

延べ入所者数は 10,327 日人数

一時保護児童数: 男子3人・女子2人で、

延べ232日人数日

【会議】

児童支援ならびに運営について会議を実施した。

(1)わかば館会議:月1回実施 (2)現場会議:月1回実施 (3)主任者会議:月1回実施 (4)心理会議:月1回実施 (5)ケース会議:月1回実施

【職員育成】

中日青葉学園全体の合同研修以外に、日頃の児童との関わりへの工夫につながるよう月1回、心理療法担当職員によるミニ職員研修を行った。また職員の専門性向上を目指し、外部研修16件に延べ37人が参加した。

② 療育

入所児童全員のケアプランを作成し、個々の児童の支援について計画性を担保するため、全てのケースにおいて、ケアプラン作成時に館長、課長、心理係長のいずれかによるスーパーバイズを実施。対象児童の強みを生かしたプランの作成を行った。

入所する児童の多くが発達障害であることから、短期目標が見える化し、児童の居室に掲示。毎日、達成度などについて確認を行った。

年度当初に掲げた基本方針である（１）日課に基づいた生活指導を行い基本的な生活習慣の習得を目指す（２）心理療法担当職員による個別のセラピーを実施する（３）小中学生は敷地内の分校に通い、能力や特性にあわせた教育を保障する（４）園内の行事や部活動、余暇活動をグループワークとして活用。それぞれの子どもの発達、自己肯定感の向上、自己実現や自立支援など、健やかな成長につなげる（５）園外活動を通じ、子どもの社会性が深まる体験活動を企画する（６）必要に応じて、医療機関と連携し、より専門性の高い療育を提供する（７）すべての専門職が権利擁護を意識し、子どもの最善の利益を目指す（８）専門職については、それぞれの役割を明確にし、連携することにより質の高い療育を提供する 一の８項目については、おおむね達成された。

しかしながら（７）については、権利侵害につながる恐れのある対応が１事例、愛知県の調査により施設内虐待と認定されたケースが１事例あったことから、緊急で施設内の研修を４回実施した。再発防止のためワーキンググループを立ち上げ、１年目の若手職員から２０年以上勤務するベテラン職員の８人で、「指導方針」「やむを得ず身体制止を行う際の基準」を策定し、全職員で共有した。

③ 自立支援

児童心理治療施設としての支援を完了した児童４人が、家庭復帰を果たした。それぞれの児童の通う学校や放課後デイサービスなどに情報提供を行い、地域生活の支援ネットワークを構築した。

大学生、社会人、グループホームで地域生活を送る退所児童に対しても、必要に応じ定期連絡や訪問、家族療法室を利用した実家機能、医療機関への受診支援などを実施。学生生活、就労、地域生活が維持され、さらにより良い生活を送れるよう支援を実施した。また、退職や人間関係の不和などで、生計の維持が困難となった退所者に対して危機介入し、通院の付き添い、生活保護の取得や就労支援、定期面談などを実施し、安定的な生活が送れるよう支援した。

④ その他

（１）性の問題を考える会

東海エリアの児童福祉施設や医療機関の職員、医師などで作る「性の問題について考える会」の事務局を、わかば館の心理療法担当職員が中心に担った。性教育、

性化行動の対応などについて最新の情報と専門知識を学ぶため、当年度は3回実施した。

(2)性教育

性教育を専門に取り組む看護師を迎え、中学生男女と退所を控えた児童を中心に13回(参加児童は延べ46人)実施した。

生活の中での性教育の在り方を考え、日々の支援に生かした。また、学校との情報交換も行った。

(3)心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けて入所する子どもが増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職が、わかば館1階の治療棟で1回45分程度の個別のセラピーを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづらさに折り合いがつけられるよう、心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるよう整えた。

また、非常勤の精神科医には子どもとの面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から子どもとの関わりを持ってもらい、子どもの状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(4)家庭支援

子ども1人1人の特性に合った治療・支援が行えるように、子ども1人に対し生活担当、心理担当、家族支援担当の職員を配置し、三者が共同してケアプランを作成。よりきめ細かい支援が行えるようにしている。

(5)児童支援

入所児童の多くが心療科に定期的に通院しており、医療機関との連携強化に努め、個々のケースに合わせてより専門的な視点で治療が行えるようにしている。

児童相談センターとも連携し、保護者への子育て支援プログラムの実施や、家庭復帰を目指して地元校や各関係機関、支援者との関係者会議等も積極的に行い、家庭復帰や児童養護施設等への措置変更に役立てた。

日々の取り組みでは、男女それぞれのホームで毎日その日を振り返る「もえぎ会議」「ガールズミーティング」を継続して実施。子ども達が意見を言える場を設けている。

(6)学習

小学生の希望者を対象に公文式学習を導入。高校受験は、個々の進路に応じた学習に取り組めるよう分校と連携して個別対応を実施した。

(7)福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉ポイント加算では

- ▷福祉人材育成
- ▷教員養成介護体験
- ▷福祉避難所
- ▷被虐待児の受け入れ
- ▷保護者支援事業

の5項目で4ポイントを取得した。

中日青葉学園 主な行事

開催日		行事名
4月	6日	北小学校、高校入学式
	7日	日進中学校入学式
	11日	ラーメン訪問
	29日	つつじの会
5月	3～5日	ゴールデンウィーク外出
7月	22、26日	あおば館 目的別活動（佐久島海水浴・犬山散策）
	24、31日	わかば館 目的別活動（佐久島海水浴・滋賀散策）
8月	17日	施設長会 卓球大会
	3・4日	両館合同 目的別活動（常神半島 素潜り体験、釣り体験）
9月	18日	施設長会 ソフトボール大会
	23日	愛知韓国青年商工会による焼肉訪問
	30日	日本赤十字愛知県支部招待 スペイン村・伊勢日帰りの旅
10月	28日	青葉まつり
11月	5日	施設長会 音楽の集い
12月	2日	フラワーアレンジメント協会 クリスマスリース教室
	4日	フレベールケーキ教室
	9、16日	中日森友隊活動（環境整備ボランティア）
	8日	中部善意銀行サンタ訪問
	17日	ハーレーサンタ訪問
	22日	両館合同クリスマス会
	30日	餅つき
1月	28日	収穫体験（日進市農業委員会）
2月	4日	施設長会 親善マラソン
	11日	中央ライオンズクラブ いちご狩り招待
3月	16日	巣立ちの会

主な行事の写真



つつじの会
(4月29日)



三つ葉 バーベキュー
(5月3日)



CAPNA総会 和太鼓演奏披露
(6月3日)



佐久島 キャンプ
(7月26日)



日本赤十字愛知県支部招待
スペイン村日帰り旅行(9月30日)



青葉まつり
(10月28日)



クリスマスリース教室
(12月2日)



フレベールケーキ作り訪問
(12月4日)



名古屋スポーツセンター
スケート招待(12月24日)



竹の子会 緑綬褒状
お祝い会(1月16日)



ホーム旅行
(3月9日)



巣立ちの会
(3月16日)

子育て短期支援事業

中日青葉学園あおば館では、日進市、東郷町、豊明市、長久手市と提携し、提携市在住の保護者が疾病等の理由により、一時的に児童の養育が困難になった際に該当児童を養育が再開できるまでの間、保護者の代わりに保護、養育を行う「子育て短期支援事業」を実施している。

当年度の実績は、以下のとおり。

提携市町	実施月	人数	利用日数
日進市	4月	1人	2日間
長久手市	8月	1人	11日間

社会福祉充実計画

平成30年度より10年間の予定で、総額42,137万円の社会福祉充実計画を策定していたが、令和3年度に当初10年目に予定していた地域小規模児童養護施設の建設(現.三つ葉)を前倒しで実施した。建築資材の高騰などもあり、事業計画の総額を超過したことから、10月に所轄庁から同計画の終了の承認を受け、予定期間満了前に終了となった。

地域における公益的な取り組み

中日青葉学園内にフリーダイヤルを設置し、社会福祉士、保育士、心理士などによる地域住民からの子育て相談を実施。

当年度の利用実績は下表のとおり。

【新規相談件数】 総数 1件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

【継続相談件数】 当年度 0件

【主な相談内容】 ※重複あり

子育て一般	発達相談	不登校	虐待	いじめ	その他
1	1	1	0	0	0

社会的養育推進計画

中日青葉学園あおば館の社会的養育推進計画に沿って、7月に男子ホーム(けやき)、女子ホーム(もみじ)の2ホームで新たに玄関を設置するなどのリフォームを行い、全6ホームの小規模化を完了した。性問題対策として、2階フロアを女子専用、3階フロアを男子専用とした。また、使用しなくなった幼児専用ユニット(旧さくらホーム)も、令和7年度に愛知県と協議して策定される社会的養育推進計画の見直しを視野に入れ、居室をすべて個室に変更し、新たな事業に利用できるようにリフォームした。

里親フォスタリング事業

令和2年度から里親を増やす啓発活動などを行う「里親制度重点エリア啓発及び里親研修事業」を愛知県から受託し、中日青葉学園内に事務局として「フォスタリングセンター」を設けてさまざまな事業を行っている。重点エリアは年度ごとに代わり、当年度は日進市、一宮市、東郷町で啓発活動を実施。市内の店舗や行政機関と連携を図り、普及啓発に努めた。3市町で計15回、休日に養育里親体験発表会を開催。里親をしている方に実体験を披露してもらおうと共に、グループに分かれて質疑応答する機会を設けて移行支援につなげ、登録を目指す家庭を増やす活動に取り組んだ。

【啓発事業】

スーパー等	集いの場等	パネル展示など
11回	5回	5回

【SNS等の発信】Instagram、Facebook

投 稿	フォロワー数
58件	410件

【養育里親体験発表会】※重複あり

実施回数	参加者
15回	延べ192人

【研修事業】基礎研修、登録前研修、登録前演習、更新研修

実施回数	参加者
5回	延べ58人

【世帯別の結果】

問い合わせ家庭	登録	成育歴調査
11世帯	2世帯	6世帯

事業報告 付属明細

〈事業件数〉

当年度の本部、各支部の事業件数は次の通り。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など幅広い社会貢献に取り組んだ

	主 催	共 催	後 援	合計
本 部	5	14	96	115
北陸支部	4	0	1	5
東海支部	12	0	8	20
東京支部	1	0	5	6
岐阜支部	2	1	27	30
合 計	24	15	137	176

〈寄付金〉

当年度の本部、各支部、青葉学園の寄付金受領件数及び金額は次の通り

	本 部		北陸支部		東海支部		東京支部	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般寄付	352	64,665,198	25	170,734	15	296,537	8	333,000
年末助け合い	289	25,954,949	16	478,453	49	2,520,656	53	918,810
指定寄付	18	7,278,548	0	0	0	0	0	0
合 計	659	97,898,695	41	649,187	64	2,817,193	61	1,251,810

	岐阜支部		青葉学園		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般寄付	44	772,078	114	9,709,087	558	75,946,634
年末助け合い	72	3,861,256	0	0	479	33,734,124
指定寄付	0	0	0	0	18	7,278,548
合 計	116	4,633,334	114	9,709,087	1,055	116,959,306

(金額単位:円)

〈災害義援金〉

当年度、中日新聞社に協力した災害義援金活動は次の通り

令和6年能登半島地震 26,465 件 1,428,993,283円 (1月4日～3月15日)

〈事業一覧〉

当年度の本部、各支部の事業一覧は次の通り

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
4/9	第43回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	豊橋創造大学アリーナ
4/15～5/27	令和5年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会	星ヶ丘ボウルほか
4/15～2/17	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	名古屋手をつなぐ育成会 (共催) 中日新聞社会事業団	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/16	第8回チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園周回コース
4/19～11/30	第20回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市、名古屋市身体障害者福祉連合会、名古屋手をつなぐ育成会、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、名古屋市精神障害者家族会連合会、名古屋市特別支援教育研究協議会、名古屋市社会福祉協議会、名古屋市総合リハビリテーション事業団	小幡緑地公園ほか
4/22～29	陶工房鳴海 陶展・チャリティーバザー	後援	東海丸二陶芸	陶工房鳴海
4/29～3/9	愛知県精神保健福祉の増進に関するネットワークづくり実施事業	後援	愛知県精神障害者家族会連合会	県白壁庁舎5階会議室ほか
5/7	第72回児童園遊会	共催	名古屋市、名古屋市社会福祉協議会 (共催) 中日新聞社会事業団	東山動植物園
5/25～27	ウェルフェア2023～福祉・医療・健康の総合展～	後援	名古屋国際見本市委員会、名古屋産業振興公社、名古屋市総合リハビリテーション事業団 (共催) 中日新聞社	吹上ホール
6/1～7/31	令和5年度愛盲連文芸大会	後援	愛知県盲人福祉連合会	明生会館
6/1～3/31	東日本復興支援事業	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
6/4	第59回名古屋肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	長野県池の平ホテル、黄金アカシアの丘
6/6～1/16	令和5年度面接相談事業	後援	愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/11	設立50周年記念事業 全国膠原病友の会愛知県支部 総会・医療講演会	後援	全国膠原病友の会 愛知県支部	名古屋市都市センター
6/11	公益社団法人日本リウマチ友の会愛知県支部 第60回記念大会	後援	日本リウマチ友の会 愛知支部	ウィンクあいち
6/17～2/11	福祉に関するレクリエーション講習会・研修会・セミナー	共催	愛知県レクリエーション協会 (共催) 中日新聞社会事業団	愛知県体育館ほか
7/2	第39回愛知県聴覚障害者大会	後援	愛知県聴覚障害者協会 (主管) 西尾聴覚障害者協会	一色町公民館
7/9	第59回重度在宅児・者研修旅行	後援	名古屋手をつなぐ育成会	安城産業文化公園デンパークほか
7/9	令和5年度療育事業	後援	愛知県知的障害者育成会	伊勢シーパラダイスほか
7/10	令和5年度岐阜県母子寡婦福祉研修大会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/13	東海地区特別支援教育振興資金贈呈	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
7/21～29	第66回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市、名古屋市社会的養育施設協議会 (共催) 中日新聞社会事業団	篠島海水浴場
7/22～9/15	令和5年度夏期高校生ボランティア活動/体験文募集	後援	中部善意銀行	愛知県内の社会福祉施設
7/23	第41回昭和区の福祉まつり	後援	第41回昭和区の福祉まつり実行委員会 (共催) 名古屋市昭和区役所、名古屋市昭和区社会福祉協議会	昭和区役所
8/10～14	第48回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ (AMIGOキャンプin四日市)	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/10～12/2	第32回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、AICHI高校生交流会実行委員会 (共催) 中日新聞社会事業団、愛知県社会福祉協議会	豊川市文化会館ほか
8/14	愛知県社会的養育自立支援事業 料理教室・グロウアップセミナー(自立セミナー)	後援	愛知尾張福祉相談センター	ウィルあいち料理スタジオ
8/17	令和5年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	共催	愛知県児童福祉施設長会 (共催) 中日新聞社会事業団	日進市スポーツセンター
8/19	NPO法人子どもセンター「パオ」 17周年記念イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	イーブルなごや

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
8/19～20	令和5年度親子サマーキャンプ	後援	東海交通遺児を励ます会	国民宿舎恵那山荘（保古グランピング）
8/19～11/19	第49回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	刈谷市北部生涯学習センターほか
8/20	アートセラピーを学ぼう。研修会・一日体験	後援	アートセラピー研究会、日本描画テスト・描画療法学会	イーブルなごや
8/26～27	2023愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA（第69回東海車いすテニス大会）	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会、愛知県車いすテニス協会（主管）2023愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA実行委員会	名古屋市東山公園テニスセンター
9/1～10	2023年度三重県アールブリュット&ミュージックブリュット事業 LoVE Gifted ～三重県アールブリュット&ミュージックブリュット2023～	後援	希望の園（共催）東海北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター、三重県障がい者芸術文化活動支援センター	三重県総合文化センター
9/1～3/30	インクルージョンフェスティバル2023	後援	インクルージョン実行委員会	全国
9/1～3/31	名古屋少年友の会更生保護行事	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院ほか
9/3	NPO法人愛知県難病団体連合会第50回大会	後援	愛知県難病団体連合会	東別院会館ホール
9/7～11/25	青少年の自立支援事業「スマイルサポートプログラム2023」	後援	愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
9/9	小児がん啓発イベント GGSCスマイルアクション in NAGOYA	後援	ぶくぶくぼる一、日本小児がん研究グループ	中部電力MIRAI TOWER
9/9～10	第55回愛知県身体障害者作品展	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会、高浜市身体障害者福祉協会	高浜市やきものの里かわら美術館・図書館
9/9～10	第5回世界身体障害者野球日本大会 WORLD DREAM BASEBALL 2023	後援	日本身体障害者野球連盟（共催）愛知県、名古屋市、中日新聞社	バンテリンドームナゴヤ
9/10～12/10	第71回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内
9/14～3/17	令和5年度あいちアール・ブリュット展	後援	愛知県	市民ギャラリー矢田ほか
9/16	第8回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾市卓球協会（主管）西尾パール卓球クラブ	西尾市総合体育館
9/17	障害者青年学級合同運動会	後援	合同運動会実行委員会	パロマ瑞穂アリーナ
9/18	令和5年度愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	共催	愛知県児童福祉施設長会（共催）中日新聞社会事業団	幸田町とばね運動場
9/23	親子なかよしキャンプ デイキャンプ	後援	愛知県自閉症協会・つぼみの会	朝明ロッジ
9/30～10/1	第36回言友会中部大会 in 伊勢	後援	三重言友会	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
10/1	第28回長良川ふれあいマラソン大会	後援	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曽三川公園特設会場
10/6～10	第75回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会、愛知県社会福祉協議会、市区町村共同募金委員会、市区町村社会福祉協議会	NHK名古屋放送センタービル1階プラザウェブ21
10/7～9	第5回名古屋コインショー	後援	日本貨幣商協同組合	ウインクあいち
10/8	第49回名視協文化祭	後援	名古屋市視覚障害者協会	名身連福祉センター4階ホール
10/8	NPO法人幸せつむぎ主催 第3回特別講演会「障害者・児の相談支援について」	後援	幸せつむぎ	豊明市文化会館
10/8～9	夏だ！、海だ！、篠島だ！家庭養護の仲間たちで作る離島自然体験活動	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	篠島 浜辺の宿 大舟
10/11～12/9	第79回ボランティアスクール	後援	社会福祉法人あさみどりの会	さわらび園、べにしだの家
10/12～19	難病者激励金贈呈	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
10/17～22	作品展「あいちアール・ブリュット展10周年記念美術館」 あいちアール・ブリュット展10周年記念式典及び記念公演	後援	愛知県（共催）名古屋市文化振興事業団	名古屋市市民ギャラリー矢田、名古屋市東文化小劇場
10/17～11/10	全国ナイスハートバザール2023 in あいち 第42回 障害者作品即売会「福祉の店」	後援	全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会、日本セルフセンター、愛知県、名古屋市、愛知県セルフセンター、愛知県知的障害者福祉協会、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会、愛知県身体障害者福祉団体連合会、名古屋市身体障害者福祉連合会	イオンモールナゴヤドーム前ほか
10/21	創立41周年記念C5忍者ランド&運動あそびフェスタ	後援	アイディアC体創協会	愛知県体育館 第1競技場
10/22	南障会日帰り研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	リステル浜名湖

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
10/29	第47回'23愛のフェスティバル	後援	名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会 福祉会館・北側駐車場・南側ひろば
10/29	第20回車いすテニス岩倉大会（ニューミックステニス）	後援	岩倉市テニス協会、愛知県車いすテニス協会	岩倉市野寄テニスコート
10/29	第33回 名古屋市精神障害者家族交流事業「晴れ ときどき 虹」	後援	名古屋市精神障害者家族会連合会、名古屋市	鯉城ホール
10/31～12/25	第37回ふれあいフォトコンクール	後援	愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会ほか
11/3～5	第24回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	道徳公園野球場、道徳小学校、大江中学校
11/5	第68回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会、名古屋市	名古屋市中区役所ホール
11/5	第45回音楽の集い「岡崎大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会（共催）中日新聞社会事業団	岡崎市民会館あおいホール
11/5	第22回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会（共催）中日新聞社会事業団	ドルフィンズアリーナ
11/11	令和5年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/11	第61回愛知県子ども会大会	後援	愛知県、愛知県子ども会連絡協議会、愛知県社会福祉協議会、中日新聞社	名古屋市公会堂 大ホール
11/12	令和5年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	三重県母子寡婦福祉連合会（共催）鈴鹿市母子寡婦福祉会	イスのサンケイホール鈴鹿
11/12	第66回東海車いすツインバスケットボール定期大会 長野塩尻大会	後援	東海車いすツインバスケットボール連盟（主管）信州流星倶楽部	ユメックスアリーナ
11/15	第56回愛知県視覚障害者福祉大会（一宮大会）	後援	愛知県盲人福祉連合会	尾西生涯学習センター
11/20～26	令和5年度作品展「てをつなぐ」	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ここにこ
11/22～26	第15回 ふれあいアート展	後援	愛知県知的障害児者生活サポート協会	名古屋電気文化会館 東ギャラリー
11/24	第16回健康づくりウォーキング大会	後援	名古屋市老人クラブ連合会	東山公園一万歩コース
11/25	あいち高次脳機能障害支援フォーラム	後援	あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会（共催）愛知県、名古屋市、名古屋市総合リハビリテーション事業団	名古屋市中区役所ホール
11/25	第21回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター
11/25～26	せとアール・ブリュット芸術文化祭2023 Borderless Society	後援	スマイルプロジェクト	せとっこあさん プチカフェ
11/26	創立20周年記念 第20回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会（主管）なごや手話フェスティバル実行委員会	名古屋市北文化小劇場
11/27～12/28	令和5年度年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団	本部、愛知・三重県内の総支局など
12/2	第41回愛知県心身障害児（者）福祉大会	後援	愛知県心身障害児（者）福祉団体連絡協議会（共催）愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉会館
12/2～10	令和5年度小牧市障がい者作品展 こまきアール・ブリュット展	後援	小牧市	小牧市まなび創造館 市民ギャラリー
12/3	第62回愛知県身体障害者福祉大会	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会、あま市身体障害者福祉協会	あま市美和文化会館
12/8～10	尾西作家協会チャリティー展	後援	尾西作家協会	尾西信用金庫事務センターギャラリー
12/9～10	令和5年度東海北陸ブロック障害者芸術文化活動事業 ジャパンミュージックブリュットフェス 全人類青春継続支援事業 vol.4 Doit!! ～人生ショービジネスだろ！～	後援	東海北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター、希望の園、ポパイ、あいち芸術福祉株式会社、愛知県障害者芸術文化活動支援センター	Live&Lounge Vio
12/10	第5回名美歳末チャリティー茶会	後援	名古屋美術商協同組合（共催）名古屋美術倶楽部	名古屋美術倶楽部
12/19～3/3	つむぎの展 「Wa」	後援	幸せつむぎ	愛知芸術文化センター、松本市美術館
12/22	第71回愛知県社会福祉大会	後援	愛知県、名古屋市、愛知県共同募金会、愛知県社会福祉協議会	ドルフィンズアリーナ

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
12/23	日本特殊陶業株式会社がお贈りする第11回ファミリーミュージカル「三匹のこぶた・赤ずきん」	後援	日本特殊陶業株式会社	日本特殊陶業市民会館フォレストホール
12/23	ISOGAI花火劇場in名古屋港 ～次世代を担う子供たちに美しい花火を～	後援	ISOGAI花火劇場	名古屋港ガーデンふ頭
12/23～24	少年少女合唱団 地球組コンサート2023『ユカイなサンタがやってきた！』	後援	少年少女合唱団 地球組	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
12/24	第56回交通遺児を励ます大会	後援	東海交通遺児を励ます会	サイプレイスガーデンホテル
12/24	中日青葉学園招待スケート教室	主催	中日新聞社会事業団	名古屋スポーツセンター
12/27	令和5年度第14回愛知県児童福祉施設フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会（共催）中日新聞社会事業団	日進市スポーツセンター
1/14	令和5年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会（共催）中日新聞社、中日新聞社会事業団、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団	JPタワー名古屋
1/14	第26回あした天気にな～れ ～誰もが安心して暮らせる街づくり～	後援	愛知県精神保健福祉士協会	名古屋国際会議場
1/17～21	あいちアール・ブリュット・サテライト展（みよし市）	後援	愛知県	カネヨシブレイス
1/20～22	第47回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	ウィンクあいち
1/23～28	第61回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市特別支援教育研究協議会（共催）中日新聞社、中日新聞社会事業団	名古屋市民ギャラリー栄
2/4	令和5年度第38回愛知県児童福祉施設親善マラソン大会	共催	愛知県児童福祉施設長会（共催）中日新聞社会事業団	サンテパルクたはら
2/6	令和5年度地域共生社会推進セミナー	後援	愛知県社会福祉協議会	ウィルあいち
2/6～11	みんなのアート展あいち	後援	愛知県知的障害者福祉協会	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
2/9	2023年度東海北陸静岡ブロック研修・交流会	後援	日本ファミリーホーム協議会東海北陸静岡ブロック	名鉄グランドホテル
2/11～3/11	東海特別支援教育カンファレンス2023	後援	東海特別支援教育カンファレンス実行委員会	岐阜じゅうろくプラザ、オンライン
2/28～3/3	第58回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、名古屋市身体障害者福祉連合会	市民ギャラリー矢田
3/1	第12回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	愛知県社会福祉協議会（共催）中日新聞社、中日新聞社会事業団	名古屋東急ホテル
3/3	NHKハートフォーラム 名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋 講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団	ウィンクあいち
3/3	第42回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	愛知県聴覚障害者協会、愛知県社会福祉協議会	ウィルあいち
3/5	RDD(Rare Disease Day)2024inあいち	後援	愛知県難病団体連合会	ナディアパーク2階アトリウム
3/10	第30回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2024	後援	愛知県フロアバレーボール協会	ドルフィンズアリーナ
3/17	第52回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/20	第19回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会（共催）日本女子テニス連盟愛知県支部	名古屋市名東スポーツセンター、名古屋市障害者スポーツセンター
3/23～28	第38回愛知動作療法療育キャンプ	後援	第38回愛知動作療法療育キャンプ実行委員会	坂井温泉 湯本館
3/24	親子サッカー教室	後援	名古屋市里親会こどもピース	みなとアクルスUBフットサル場

事業一覧（北陸支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
7/1～31	乳児院に図書カードを贈呈	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	石川県、富山県内の乳児院
7/16～8/21	児童養護施設入所児童招待 北陸中日新聞主催展覧会「すずめの戸締まり展」	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	金沢エムザ
11/18	第42回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館 プール
11/27～ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団北陸支部	中日新聞北陸本社など
3/1～31	大井中日就学（職）支援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	石川県内児童養護施設

事業一覧（東京支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
4/15～18	Art to You!東北障がい者芸術全国公募展 東京巡回展	後援	（公財）東北障がい者芸術支援機構	〇美術館
8/12～13	第27回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	全日本IDバレーボール連盟ほか	浦安市運動公園総合体育館
9/27～29	H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム	協賛	（福）全国社会福祉協議会 （一財）保険福祉広報協会	東京ビッグサイト
10/9	2023グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞東京本社ほか	駒沢オリンピック公園および陸上競技場
10/28	第21回本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート「ほのカルテット with 澤和樹」	後援	（福）日本点字図書館	東京文化会館小ホール
11/27～ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団東京支部	中日新聞東京本社など

事業一覧（東海支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
4～3月	児童養護施設すみれ寮入所者の誕生祝補助	主催	中日新聞社会事業団東海支部	児童養護施設すみれ寮
5月	静岡県ボランティア協会 年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/8	第24回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	草薙総合運動体育館 このはなアリーナ
7/19	第38回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	スズキビジネスチャリティ ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部 浜松コース
8/1～31	浜松市内ひとり親世帯小・中・高生へ 学業奨励（新聞購読）事業	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市内
8/17	静岡県児童福祉施設夏季スポーツ交流会	後援	静岡県児童養護施設協議会	狐ヶ崎ヤングランドボール
8/23	第7回全国盲学校フロアバレーボール しずおか大会	後援	全国盲学校体育連盟	小笠山総合運動公園 エコパアリーナ・サブアリーナ
10/19	第40回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松
11/18, 19	第42回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店イ・コイ スクエア6階 ギャラリー・ロゼ
11/25	第36回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 （特非）静雄見作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場
11/27～ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社など 静岡県内
12/13	第39回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	スズキビジネスチャリティ ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部 浜松コース
12/14	静岡県西部地区生活保護家庭の中学生に 図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
12/20	静岡県西部地区児童養護施設出身大学生らへ 年末生活支援一時金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設
2/23	第45回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会ほか	静岡サレジオマリアンホール
2/28	静岡県西部地区生活保護家庭小学校新 入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
3/15	浜松市内の交通遺児で中学卒業者へお 祝い金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市内
3/19	児童養護施設入所の中学卒業者へお祝 い金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設
3/27	社会福祉事業資金造成 第40回中日杯 争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ
3/29	児童養護施設入所の新小学1年生ヘラ ンドセル贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設

事業一覧（岐阜支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
毎月	認知症介護者のつどい	後援	認知症のひとと家族の会岐阜県支部	岐阜中日ビルなど県内各地15会場
毎週 火木金	心の病電話相談（年間146回開催）	後援	岐阜県精神保健福祉社会連合会	岐阜県精神保健福祉社会連合会事務所
毎月 第2水曜	薬物依存症医療電話相談（年間10回開催）	後援	岐阜ダルク	岐阜ダルク事務所
年間	男性刑務所篤志面接活動助成	後援	岐阜刑務所篤志面接委員協議会	岐阜刑務所
年間	女性刑務所篤志面接活動助成	後援	笠松刑務所篤志面接委員協議会	笠松刑務所
年間	難病団体連絡協議会活動助成	後援	岐阜県難病団体連絡協議会	岐阜県福祉農業会館
年間	男性更生保護施設活動助成	後援	更生保護法人岐阜県共助会	更生保護施設光風荘
年間	女性更生保護施設活動助成	後援	更生保護法人洗心之家	更生保護施設洗心之家
年間	少年福祉更生活動助成	後援	岐阜少年友の会	岐阜家庭裁判所
年間	犯罪被害者支援活動助成	後援	ぎふ犯罪被害者支援センター	シンクタンク庁舎
年間	児童福祉活動助成	後援	岐阜県児童福祉協議会	岐阜県児童福祉協議会事務局
年間	網膜色素変性症患者の会活動助成	後援	岐阜県網膜色素変性症協会	岐阜アソシア会議室等
年間	ろう劇団活動助成	後援	岐阜ろう劇団いぶき	岐阜市メディアコスモス等
8/18～20	岐阜市母子家庭 東京ディズニーランドバス旅行	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーリゾート
8/22～9/4	ふれあいアートステーションぎふ（夏）	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房
9/17	慢性腎臓病対策講演会	後援	岐阜県腎臓病協議会	瑞穂市総合センター
9/30～10/1	CPサッカー全日本選手権大会	後援	日本CPサッカー協会	長良川球技メドウ
10/7	岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	長良川競技場
10/22	聞こえのサポートフェア	後援	ぎふ難聴者協会	高山市役所
11/14～27	ふれあいアートステーションぎふ（秋）	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房
11/18	中部学院全国手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、 同短期大学部	中部学院大学
11/18～19	たじみアール・ブリュット芸術文化祭	後援	スマイルプロジェクト	ヤマカまなびパーク多治見市学習館
11/25	全国身体障害者グラウンドゴルフ大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会	長良川競技場
11/27～12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社など
12/3	岐阜県特別支援学校駅伝競走大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	岐阜百年公園
12/9	東海地区盲学校ゴールボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	岐阜県福祉友愛アリーナ等
1/16～29	ふれあいアートステーションぎふ（冬）	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房
1/14	岐阜難病連ピアサポート研修会	後援	岐阜県難病団体連絡協議会	ソフトピアジャパンセンター
1/28	要約筆記かがり火講習会	後援	ぎふ要約筆記かがり火	岐阜市民福祉活動センター
2/1	中日ロボラぎふ就学（職）支援金贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社

〈高額寄付一覧〉

当年度の本部、各支部、青葉学園へ的高額寄付は次の通り

高額寄付(一般)

(令和5年4月～令和6年3月)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
萩原電気ホールディングス	名古屋市	おおやま歯科医院	名古屋市
全ヤマナカ労働組合	名古屋市	第一生命労働組合中京総合支部	名古屋市
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	東海税理士会	一宮市
成田山索の会	犬山市	名古屋競馬	名古屋市
豊橋北ライオンズクラブ	豊橋市	NTP名古屋トヨペット	名古屋市
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	サンヨネ	豊橋市
陶工房鳴海	名古屋市	トヨタ紡織課長会	刈谷市
日本ダンス議会中部総局	名古屋市	トヨタ紡織飛躍の会	刈谷市
中央電気工事	名古屋市	五月会	名古屋市
愛知県タクシー協会	名古屋市	稲沢市職員互助会	稲沢市
美浜インビテーションショナルレジェンズ岡本綾子カップ	美浜町	東海マツダ販売労働組合	名古屋市
国際電業	名古屋市	東海レディス・プラザ	江南市
ニューフィールド	名古屋市	中京金属 参席会	名古屋市
真城ホールディングス	名古屋市	知多信用金庫	半田市
松本三良記念福祉会	東海市	トリックス	津市
桜木不動産コンサルタント	名古屋市	愛知県看護協会	名古屋市
石原住宅	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村
協栄興業	東海市	東レ岡崎工場	岡崎市
協栄会・協友会	東海市	河本 三紀夫	一宮市
東郷産業	名古屋市	加藤 好章	刈谷市
JAあいち知多	常滑市	塚原 英滋	名古屋市
カナオコーポレーション	尾張旭市	荒川 光夫	名古屋市
名古屋西ロータリークラブ	名古屋市	伴野 多津子	名古屋市
中部日本書道会	名古屋市	下村 文子	名古屋市
新東工業	名古屋市	三浦 重剛	刈谷市
名古屋美術商協同組合	名古屋市	日本特殊陶業	名古屋市
尾西作家協会	一宮市	名古屋中日会	名古屋市

北 陸 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
石川近鉄タクシー株式会社・同労働組合	金沢市	齋藤 恵美	能美市
こばと保育園・こばと第2こども園	小松市		

東 海 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
アベル株式会社	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
高橋 有治	浜松市	浜松ロータリークラブ	浜松市
浜松仏教会	浜松市	竜ヶ岩洞	浜松市
第42回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	大村 不二朗	袋井市

東 京 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
「小さな親切」運動 ちばぎん支部	千葉市	ちば興銀ともしびの会	千葉市

岐 阜 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	水都タクシー労働組合	大垣市
全日本ロータス同友会岐阜支部	岐阜市	兼松 良秋	関 市
岐阜信用金庫	岐阜市	秦 保 (平野町椿地藏)	多治見市
岐阜ゾンタクラブ	岐阜市	中部日本書道会濃飛支部	恵那市
令和の寺子屋太志塾	羽島市	イシデンエンジニアリング	恵那市
中部日本書道会岐阜支部	各務原市	石原電機工業	中津川市
元各務原中央ロータリークラブ	各務原市		

中日青葉学園(20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
アンフィニ会	名古屋市	大矢相互不動産	稲沢市
酒井 文雄	名古屋市	モリスコンサルティンググループ	目黒区

* 匿名は省略しております

高額寄付(指定)

(令和5年4月～令和6年3月)敬称略、順不同

本 部(20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車 親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
西浦不動無量寺	蒲郡市	愛知県健康づくり振興事業団
徳弘 妙子	名古屋市	中部盲導犬協会

*匿名は省略しております

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

	所 在 地
本 部	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市中央区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-6218
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3580-5452
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中 日 青 葉 学 園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315
中日青葉学園三つ葉	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町小林131番地